



令和5年
7月号

学校だより

小野市立中番小学校
校長 井上 雅規

令和五年度、一学期最後の月

七月がスタート

★一学期のまとめの時期、体調管理を万全に、暑い夏をしつかりと乗り切ろう。



校門の市花でもある「ひまわり」がぐんぐん生長しています。子どもたちの日々の成長を表しているようです。早いもので一学期も最後の月、七月を迎えます。沖縄地方の梅雨明けも聞かれ、梅雨前線の北上が進んでおります。梅雨とはいえ、本格的な暑さも厳しくなってきました。六月二十日にはプー開きもしましたが、熱中症にも益々注意が必要な時期となりました。体調管理を万全にし、乗り切っていきたいと思っております。

七月といえば、一学期のまとめの時期です。学習に、生活に、今一度ギアを一段高くと入れ直す時期と考えます。暑くなると、どうしても気持ちが萎えてしまいがちです。生活にメリハリを付けるために、「あいさつ」「姿勢」「返事」「掃除」「履き物揃え」「椅子入れ」「言葉づかい」など普段から心がけることを意識させていきたいと思っております。

六月十五日には、今年度二度目となるオープンスクール・学習参観を実施することができました。子どもたちにとっては、お家の人に見られる恥ずかしさや照れくささ、しっかりとしなければ・・・という緊張感はあるものの、やはり、うれしく感じているものです。保護者の皆様にとっても、しっかりと聞勉強しているんだろうか、話はちゃんと聞

いているか、ごそごそしていないか、勉強分かっていないか、等々、さまざまな思いでご覧になったのではないのでしょうか。見られる側、見る側、双方にとって大切な時間であったのではないかと思っております。学校評議員様、教育委員様等もお越しください、学校の様子をご覧になりました。子どもたちの様子については、明るく、元気に、そして、落ち着いて学んでいることをご感想として拝聴しました。今後も機会ある毎に学校を公開し、多くの方にご来校いただけるよう教育活動を進めたいと思っております。



旭丘中学校区小中一貫教育

★平成二十八年より実施、八年目を迎える今、さらなる進化・充実を目指して。

六月二十日、旭丘中学校区小中一貫教育運営協議会が行われました。この協議会は、旭丘中学校区4校（大部小学校・中番小学校・下東条小学校・旭丘中学校）の各PTA会長様、各校代表の学校評議員様にご参加いただき、旭丘中学校区小中一貫教育についてさまざまな立場から広く意見を求め、交流することを目的に開催しています。今年度の事業説明に加え、今回は中学校の改築、コロナ禍以降の小中連携ができる教育活動の推進、トライやるウィークの充実・発展、小中一貫教育が九カ年で成長していく連続した教育活動であること等について、意見交流がされました。

ここで、この旭丘中学校区の小中一貫教育について少し説明をさせていただきます。

まず、旭丘中学校区の小中一貫教育の目標は、「社会的自立への基盤づくり」互いに磨き合い、たくましく、心豊かな人づくりです。次に、主な活動では、小中合同の教育活動（マラソン大会、あさひ祭、中学校一日体験「授業・生活体験」、トライやる・ウィークの受け入れ、小学校運動会への吹奏楽部参加等）を実施しています。学校・職員間の活動では、相互授業参観を年間2回、合同研修会を年間2回実施し、相互交流を深め、児童・生徒理解を図っています。教科部会では、重点教科等を設定し、教科の学習にも力を入れています。そして、組織運営面では、前述いたしました小中一貫教育運営協議会（学校・学校評議員・PTA会長）を年2回開催し、広く学校以外からもご意見を求め、この教育に生かせるようにしています。小野市では、平成二十八年度より、市内全ての小・中学校が中学校区毎の小中一貫教育を実施しています。令和五年度は迎えて八年目となります。ある程度の期間を経た今、様々な面から本教育について、検証し、改善を図りながら、その一層の深化・充実を目指したいと考えます。例年の学校評価においては、その認知度も進み、多くの方にご理解とご支援をいただいていることは誠にうれしい限りです。「今日も学びたい、明日も行きたい。」そう思える中番小学校の実現に向け、今月も取り組んでいきたいと思っております。中番小学校は、この地域とともに在り、地域の皆様と一緒に歩んでいきたいと願っています。

「中番一巻」

